

平成30年度 松本美須々々丘高等学校 学校自己評価表

78 長野県松本美須々々丘高等学校

I 教育目標 評価は、A（十分）、B（おおむね十分）、C（やや不十分）、D（不十分）の4段階

学 校 教 育 目 標	総 合 評 価
1 基礎的知識・技能の習得及び健康・体力の増進 2 自主・自律の精神及び豊かな情操・知性の育成 3 地域との連携による幅広い人間性の涵養 4 民主的で平和な国家・社会を形成する主権者の育成	
平成30年度 重点目標（平成30年度～34年度 中期目標）	
(1) 「大学入学共通テスト」に対応する丁寧な教科指導と進路体制の充実により、それぞれの生徒の進路実現を保証する。 (2) 学習活動・課外活動・部活動など多くの場面で、課題を発見し、その解決のために生徒自らが目標を設定し、主体的・意欲的に学び、口取り組む姿勢を育成する。 (3) 広く地域や国際社会に目を向けさせ、校外でも積極的に活動することで、社会性やコミュニケーション能力を高めさせるとともに、口地域の期待に応える「地域の中の学校」づくりを進める。 (4) 必要な学習環境の整備を行い、積極的に情報を発信することで、家庭との連携を図り、複雑化する社会・家庭環境に柔軟に対応できる口安心安全な（体罰やいじめなどのない）学校づくりを進める。 (5) 「言語活動」を充実させ、的確な言葉を用いて、論理的かつ自由に思考し表現しながら、異なる他者や多様な立場を理解できる多角的な視野と品格を育む。	

II 今年度重点目標（部署別） 評価は、A（十分）、B（おおむね十分）、C（やや不十分）、D（不十分）の4段階

部	中期目標	評価項目（重点目標）	評価の観点（具体的な取り組み）	自己評価
教務	(1) (2) (3) (4)	①授業や諸行事が円滑に行われるように努めると共に、それに伴う諸問題の調整を行う。 ②各分掌や学年と密に連絡を取り合う。 ③今年度の様々な改定による諸課題に迅速に対応するよう努める。 ④安心して通える学校作りに努める。	・諸行事の計画は適切であったか。 ・公開授業、体験入学、webページの更新、中学校訪問、連絡メール配信などが効果的に行われたか。 ・校内研修の充実を図れたか。 ・55分授業や特曜日の課題を把握し、次年度の年間行事予定に反映できたか。 ・防災計画を迅速に立案し、それに基づく安全管理が適切に行われたか。	
進路指導	(1) (2)	①生徒が各自の能力・適性を的確に把握し、主体的に自らの在り方生き方を考えて進路を選択できるように、あらゆる教育活動をととして、計画的・組織的な指導を展開する。	・個人面談、学年集会、「進路の日」企画運営、「総合的な学習の時間」等を有効に活用して、生徒の進路意識を高め、進路ガイダンス機能の充実を図ることができたか。 ・各学年の進路指導計画を遂行することができたか。	
	(2) (3) (5)	②体系的な「総合的な学習の時間」の企画・運営を通じて、キャリア教育の取り組みをより充実させる。特に今年度は初年度にあたるため、記録を詳細に残し、次年度の計画立案に資するよう配慮する。	・各学年と連携し、3年間を見通した「総合的な学習の時間」の計画立案と運営に着手できたか。	
	(1)	③生徒の進路選択に関わる情報や模擬試験データを職員間で共有し、教科会等に対して指導に関する助言・協力を求める。同時に「高大接続改革」に関する情報収集に努め、職員間で情報共有を図る。	・定点観測模試結果の傾向を分析し、職員会へ報告したか。また、教科会にデータ分析を依頼し、教科指導へのフィードバックを図ることができたか。 ・各種研究会への参加や大学訪問等を通じて、高大接続改革に関する情報収集を行ったか。	
	(4)	④進路指導に活用できる情報・資料を収集し、生徒・保護者及び職員に発信する。	・各学年の進路通信（学年通信）、「進路室だより」を発行できたか。	
	(1) (4)	⑤進路学習指導部の業務推進にあたっては、関連分掌との連携を図る。とりわけ、1学年で導入するClassiの活用にあたってはその機能が多岐に渡るため、教育情報化推進の潮流に鑑み、学校全体でその活用方法を段階的に検討していく。	・教務部、情報処理部、1学年会と連携して業務にあたれたか。	
生徒指導	(4)	①生徒に基本的な生活習慣を確立させ、生徒とのコミュニケーションや家庭との連携を大切に、信頼関係を築く。 ②職員が些細なことでも情報共有できるようアンテナを高くして、いじめや体罰のない学校づくりを進める。	・職員全員で、立ち番指導、あいさつ運動、校内巡視を行い、各学年会と緊密に情報を共有し指導できたか。 ・年2回実施する匿名性のアンケートで、生徒指導部に寄せられた情報に、関係機関と連携し、的確に対応できたか。	

部	中期 目標	評価項目（重点目標）	評価の観点	自己評価
生徒会	(2) (3) (4) (5)	①他者と協力して諸問題を解決しようとする主体的、実践的な姿勢を育む。 ②集団や社会の一員としての自覚を深め、保護者・地域との連携をはかる。 ③健全で自由で活発な生徒会活動や部活動を推進する。 ④相互に尊重し、友情を深めるとともに、規律を遵守し、共同生活の発展に尽くす姿勢を涵養する。	・主体的、実践的に取り組ませることができたか。 ・保護者・地域との積極的な連携がはかれたか。 ・健全で自由で活発な生徒会活動や部活動を実現できたか。 ・多角的視野を持ち、他者を尊重することのできる人材を育成できたか。	
清美	(2) (4)	①清美委員会と協力し、ゴミの分別・ゴミの削減のために生徒自らが主体的・意欲的に取り組む姿勢を育成する。 ②職員・生徒の清掃に対する意識を高め、清潔で気持ちのよい学習環境を整えられるよう清掃計画を行う。	・資源ゴミの分別徹底により、ゴミの削減ができたか。 ・大掃除・ワックスがけなどの清掃計画は適切であったか。 ・校舎内外の清掃はきちんと行われたか。	
図書視聴覚	(2)	①生徒の主体的、意欲的な学びに役立つ図書館の蔵書や視聴覚教材・機器等を部で検討し、備える	・生徒の主体的、意欲的な学びを支援する教材等を備えることができたか。	
保健教育相談	(2) (4)	①生徒が様々な活動に、主体的・意欲的に取り組むために、生徒の心身の健康を維持できるよう、支援体制を整える。 ②成長過程での様々な問題を抱えている生徒を、早期に把握し、体や心の悩みに寄り添い、家庭や外部機関とも連携していく。	・生徒の心身の健康を維持するために、生徒の状況を把握し、情報を共有し、チーム支援の体制をとることができたか。 ・問題を抱えている生徒の悩みに寄り添い、家庭や外部機関と連携し、支援につなげることができたか。	
渉外	(3) (4)	①学校と保護者・同窓会との連絡を取り連携を図る。「すべては生徒のために」をスローガンとするPTA活動を補佐する。 ②会員が参加しやすい組織作りを心がける。 地区PTAを定着させ、出席率の向上を目指す。	・PTA事業の計画・運営は適切に行えたか。 ・地区PTA懇談会の計画・運営は適切であったか。また、保護者の意見を吸い上げ、反映させることができたか。	
学年	中期 目標	評価項目（重点目標）	評価の観点	自己評価
1 学 年	(4) (1)	①生徒が安心して学校生活を送り、良い人間関係を築き安定した精神状態で生活できるようにする。 ②入試改革に向け新たな取り組みを積極的に導入していく。	・個別面談を細目におこない生徒の状態を把握する。 ・総合の時間の有効活用と情報の発信・蓄積ができたか。	
2 学 年	(4) (2) (5)	①生徒が安心して楽しい学校生活がおくれるようにクラス・学校内で良好な人間関係を作れるようにする。 ②生徒の進路に関わる情報を逐一、家庭・生徒に提供し、個々の生徒が、自分に適した進路の方向性を見いだせるように指導する。	・進路・友人関係など学校生活での様子を聞き取る個人面談が実施できたか。 ・進路通信など定期的に発行できたか。・「総合的学習の時間」で、生徒が自発的に考え調べていくキャリア教育が実施できたか。	
3 学 年	(4) (2) (5)	①生徒が安心して安全に生活できるよう、環境整備に努め、個々の生徒に丁寧に対応する。 ②それぞれの生徒の希望を把握し、生徒、家庭に情報を提供しながら、進路実現に向けて支援する。	・学習環境整備のため、清掃等の指導をしっかりと行ったか。 ・生徒が安心して学校生活を送れるように、生徒の悩みや進路希望等の相談に応じる個人面談を実施したか。 ・生徒、保護者と情報を共有するために、定期的に学年通信を発行したか。 ・「総合的な学習の時間」では、論理的に物事を考え、意見を交換したり、まとめを文章に書く活動が行えたか。 ・進路に向けて、学習の動機付けとなるような学習合宿、実力アップのための長期休業中及び平日の補習を行ったか。	

教科	中期目標	評価項目（重点目標）	評価の観点	自己評価
国語	(1) (5) (2) (5)	①論理的思考力を高めるとともに、自らの考えを的確に表現する力を育てる。 ②教員と生徒、また生徒同士が活発にコミュニケーションできる場面を増やし、生徒自らが主体的に問題をとらえ、その解決策をわがこととして考える姿勢を作る。	・目標達成に資する適切な教材を設定することができたか。 ・授業に関わる情報交換をしつつ、教員同士が互いの授業を参観するなどして、授業力向上を図れたか。 ・定期考査に論述問題を取り入れることによって、論述力養成の効果が表れたか。 ・漢字や古文単語などの小テストを通じて、語彙力の定着を図ることができたか。 ・単元のまとめ等で、話し合いや対話を通じて各人の考えを発表することができたか。 ・「辞書作り」「助動詞かるた競技」「古典作品群読」など、生徒が能動的に授業に参加する場面を増やすことができたか。 ・作文、小論文、レポート作成等を定期的に取り入れ、各自の思考を書いてまとめる力の向上が図れたか。	
歴史公民	(3) (5)	①現代社会、政治経済など公民の授業で、主権者教育を通して広く地域や社会に目を向けさせる。 ②世界と日本の歴史・地理を学ぶ中で、他文化を理解し尊重していく姿勢を身につけさせる。	・学年と連携して、外部団体（選管）の協力を得ながら模擬投票など実体験ができたか。 ・定期考査などとおして知識の定着と理解が図れたか	
数学	(1) (2) (5)	①教科の基本的学力の定着と、応用力の充実を目指す。 ②論理的な思考とともに、「言語」による表現・伝達ができる能力の育成を目指す。	・論理的な思考の手順を、解説や板書で的確に解説が行えたか。 ・提出課題、考査等で生徒自らの論理的思考を明確に記述できるか。	
理科	(1) (2)	①自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につけるようにする。 ②観察、実験などを行い、科学的に探求する力を養う。 ③自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う	・自然の事物・現象についての理解を深められたかどうか。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につけられたかどうか。 ・観察、実験などを行い、科学的に探求する力が身についたかどうか。 ・自然の事物・現象に主体的に関わることができたかどうか。 ・科学的に探究しようとする態度が身についたかどうか。	
外国語	(1) (5)	① 4 技能を高める授業展開 ②生徒が 積極的・能動的な活動を通して、英語のコミュニケーション能力を高める	・習得した単語や文法事項を使用しての発信能力を向上出来たか	
芸術	(2)	①芸術の授業を通して、生徒が自ら目標を設定し、意欲的に自己表現をする姿勢を育成する。	・はじめに単元や各時間の目標（テーマ）を生徒に伝えたか ・終わりに次の単元や時間について生徒に伝えたか ・生徒が意欲になれる教材の設定ができたか ・意欲的に取り組めない生徒への支援ができたか	
保健体育	(2) (3)	①知識を深め、技能・体力を向上させることで、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯スポーツにつながる資質や能力を身につける。 ②健康の保持増進のための知識や実践力を身につけ、明るく豊かなで活力のある生活を営む態度を育てる。	・適切な服装、時間やルール等を遵守させ、集団行動の意義や、自分及び仲間の安全、楽しさを意識させることが出来たか、また安全管理は適切であったか。 ・運動量は確保できたか。 ・身近な話題に触れることで、興味関心を引き出し、日常生活及び今後の実践につながるような内容を提示できたか。	
家庭	(2) (5)	①多様化する家族・家庭など現代社会の現状を知り、自分の生活と関連づけて考える態度養う。自分の生活を振り返らせ自らの課題を発見し改善していくための考える力をつける	・身の回りの出来事に関連するニュースなどに興味を持たせ社会の現状を学ぶきっかけを作れたか ・実習を通して基礎的技術を習得させ、衣食などの生活課題に気づかせることができたか ・意見交換の機会を作れたか	
情報	(5)	①パワーポイントのスライド作りでは、言葉のもつ力を十分に意識し、的確に、有効に使いこなせるようにする。	・視聴者への言葉のインパクトがあるかどうか ・的確なフォントとサイズ、文言を選んでいるか ・トーンマナーは守られているかどうか	